

第92号
昭和56年
7月15日
発行

発行所
日本赤十字新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区虎の門3-24-7
(虎申ビル)
TEL. 03-432-1089
発行責任者
星野 馨

日赤新労

綱 領
1. 吾々の労働生活は、社会運動を通じて、正義と自由を擁護し、平和と繁栄を築くことである。
2. 吾々の労働生活は、健全な発展を遂げ、社会の進歩に貢献することである。
3. 吾々の労働生活は、赤十字の人道精神に基づき、平和と繁栄を築くことである。

56年 第1回中央委員会開く

56・6・21~22増上寺(東京・芝公園)

56べア交渉が本番へ

大規模な本社集会を確認

日本列島を梅雨前線がつつみこみ、上空の雲間より時折薄日がのぞく東京は芝公園、浄土宗大本山「増上寺」に会場を設け、六月二十一日から二十二日にかけて、五十六年度第一回中央委員会が全国より中

中央委 本社と集団交渉

まず第一日目(二十一日) 初めに川出中央執行委員長は、十二時三十分より十四時三十分の二時間にわたって、組織、教宣、調査の三部門にわかれて専門部会が開かれ、五十六年度の各部活動方針について各担当者間で終始熱心な話し合いが行なわれた。



第1回中央委員会風景(6月21~22日)

議題

一、専門部報告

組織部報告(高橋、掛井) 出席者(長崎、大津、赤、伊藤氏(筑前山田)、紙本氏(三原山田)、鹿島氏(茨城)、菊地氏(芳賀山田)、田村氏(大田山田) 五十六年度取り組み事項

第一回 婦人部代表者会議

現場の生の声伝える(二日目の)

五月三十一日(六月一日)の二日間、東京農林会館において、五十六年度第一回婦人部代表者会議が、代表者、オブザーバー及び本部役員等が出席し、盛大に開催された。午後一時三十分閉会、議長に大田山田高松京子さん、書記に足利山田岸智子さんを選出し、はじめに自己紹介、執行委員長のあいさつ、書記長より一般経過報告がなされ、つづいて本年度の議題を慎重に審議した結果は次の通りである。

- 一、保母給与表の改訂
それぞれ活発な意見が出され、施設直営で、二十四時保育、
- 二、産前産後の完全有給化
母体保護のためにも、安心して休暇がとれるよう、完全有給化を強く希望する。
- 三、複数夜勤日の8日制の完全実施
重傷度に見合った複数夜勤8日制、看護用具(看護助手含む)のみの充足でなく、夜勤のできる看護婦の増員。
- 四、保育所の設置
施設直営で、二十四時保育、

保に努力する。 ④本部よりのオルグを積極的に行なう。 教宣部報告(星野、野沢) 出席者(前島氏(前橋山田)、川島氏(鳥取山田)、

①新人研修会の開催 全ブロックを北と南の二ブロックに分けた本部主催による新人研修会を開く。時期は九月下旬から十月頃に予定。北は栃木県那須近辺又は福島市近辺、南は十月

明がなされたが、本年の賃金を占う重要な議題であり熱心に討議が進められた結果、今後の賃上げ交渉を有利かつ強力に展開し、例年、人権発表後においても実施の遅れている新給与の早期実施を要求し、八月二十日前後に実施を要請した。翌二日中央委員会時としては初の本部執行部及び中央委員、オブザーバー全員が出席のもとに十三時十分より約二時間三十分わたって本社交渉を行なった。

本社より提案しながら、未だに実施されていない同制度について、交渉経過を含め本部より説明がなされたが、実施に際しては、時間短縮院長会議等のあり方、給与要を好んでいないこと、職員の増員、収入の低下、サービスの低下に不安を抱いている等が言わ



第1回婦人部代表者会議(5月31日)

- ①第一ブロック
関 米(八戸山田) 野田正昭(福島山田) 早乙女正人(石巻山田) 榎 定(秋田山田) 川井則夫(浜松山田) 田村 昇(大田山田) 高橋 満(前橋山田) 大西一朗(足利山田) 菊地三男(芳賀山田) 鹿島 順(茨城山田) 田中 茂(原町山田) ②第二ブロック
富田金光(名)山田 梅村正一(名)山田 大江 融(愛知山田) 金井一彦(飯山山田) 久野達成(愛知山田) ③第三ブロック
芦谷幸喜(大津山田) ④第四ブロック
井口祥三郎(岡山山田) 川島 環(鳥取山田) 佐賀寛己(徳島山田) 紙本哲治(三原山田) 秋山一三(岡山山田) ⑤第五ブロック
杉 康教(福岡山田) 伊藤博人(筑前山田)

56年度中央委員 24名

◎印は代表中央委員

